

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号		林道台帳索引番号番号	3	施設管理者	南伊豆町
路線名	滝の田線	林道種類及び区分	自動車道第2種第2級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	南伊豆町毛倉野	起点からの距離	361m	建設年度	1973
供用年数	48	種別	コンクリート橋	型式	コンクリート床版
道路橋示方書		橋格(設計荷重)		橋下条件	

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.0m		幅員(車道幅員)	4.1(3.6)m
	施設の構造等	上部工型式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	-
		支承形式	-	落橋防止の有無	-	
	橋台工型式	不明		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離			
施設の目的利用実態等	現状、作業道、生活道としての利用は見られない。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和3年1月25日				
	調査結果	橋梁起点側床版中央部分に大きな鉄筋露出・剥離化有。				
	健全性の診断結果	Ⅲ	橋梁の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年～令和6年				
	内容	橋梁起点側床版中央部分に大きな鉄筋露出・剥離化が見受けられ、橋梁の機能に支障が生じる可能性があり早期に措置を講ずべき状態であるが、現状の施設の利用実態を考えると費用対効果が見込めないため、早期に修繕等行わないが、毎年一回の特定点検を行い、状態の経過観察を行うものとする。橋梁の機能に支障が生じる、又は支障を生じる可能性が著しく高く緊急に措置を講ずべきと判断した際には、補修を行うものとする。				
	実施予定時期	毎年1回の特定点検を実施する。				
	施設の優先度	低	利用頻度が極めて低いので優先度を低とする。			
	対策費用(概算)					
管理方法	毎年1回の特定点検及び5年に1回の定期点検を行う。また、土砂堆積が発生しやすいため、路面清掃作業を適切に行う。					

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期	定期点検	特定点検	特定点検	特定点検	特定点検	定期点検	特定点検	特定点検	特定点検	特定点検

備 考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号		林道台帳索引番号番号	6	施設管理者	南伊豆町
路線名	青木線	林道種類及び区分	自動車道第2種第2級	橋梁名	無名
施設の所在地	南伊豆町入間	起点からの距離		建設年度	1980
供用年数	41	種別	コンクリート橋	型式	コンクリート床版
道路橋示方書	-	橋格(設計荷重)	-	橋下条件	

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.0m		幅員(車道幅員)	4.5(3.5)m
	施設の構造等	上部工型式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	-
		支承形式	-	落橋防止の有無	-	
	橋台工型式	不明		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離			
施設の目的利用実態等	起点接続道路に国道があり、起点が橋梁からスタートしている。生活道として、地域住民の利用頻度が高い。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和3年1月25日				
	調査結果	地覆外側部分・橋台下部ひびわれ有。ガードレールさび有。鉄筋露出。				
	健全性の診断結果	II	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年～令和6年				
	内容	施設の状態は予防保全段階ではあるが、軽微であると判断するため、今後の定期点検において経過観察とする。				
	実施予定時期	5年に一度の定期点検を実施する。				
	施設の優先度	高	利用頻度が、高いため優先度を高とした。補修等対策が必要となるときには、長寿命化計画に関わらず、対応をしていく。			
	対策費用(概算)					
管理方法	5年に1回の定期点検を行う。					

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号		林道台帳索引番号番号	4	施設管理者	南伊豆町
路線名	鈴野線	林道種類及び区分	自動車道第2種第2級	橋梁名	大矢場山橋
施設の所在地	南伊豆町蛇石	起点からの距離		建設年度	1980
供用年数	41	種別	コンクリート橋	型式	コンクリート床版
道路橋示方書	1980	橋格(設計荷重)	2.8t	橋下条件	

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.59		幅員(車道幅員)	4.3(3.3)m
	施設の構造等	上部工型式	鉄筋コンクリート床版			
			鋼製(使用鋼材)	SD30	塗装使用の有無	
		支承形式		落橋防止の有無		
	橋台工型式	重力式コンクリート橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式			海岸からの距離			
施設の目的利用実態等	作業道、生活道としての利用頻度は低い、一部の地元住民の利用は確認している。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和3年1月25日				
	調査結果	橋台下部ひびわれ有				
	健全性の診断結果	II	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年～令和6年				
	内容	施設の状態は予防保全段階ではあるが、軽微であると判断される。ただし、規模の大きい橋梁であることから、業務委託による点検を行い、より正確な管理に努める。				
	実施予定時期	令和3年				
	施設の優先度	中	利用頻度が低いため、優先度は中とする。			
対策費用(概算)						
管理方法	5年に1回の定期点検を行う。また、土砂堆積が発生しやすいので路面清掃作業を適切に行う。					

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)		0.7								
対策の内容・実施時期	定期点検	業務委託による点検				定期点検				

備考

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号		林道台帳索引番号番号	4	施設管理者	南伊豆町
路線名	鈴野線	林道種類及び区分	自動車道第2種第2級	橋梁名	大日橋
施設の所在地	南伊豆町市之瀬	起点からの距離		建設年度	1979
供用年数	42	種別	コンクリート橋	型式	コンクリート床版
道路橋示方書	1979	橋格(設計荷重)	2.8t	橋下条件	

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.59m		幅員(車道幅員)	5.0(4.0)m
	施設の構造等	上部工型式	鉄筋コンクリート床版			
			鋼製(使用鋼材)	SD30	塗装使用の有無	
		支承形式		落橋防止の有無		
	橋台工型式	動力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式			海岸からの距離			
施設の目的利用実態等	作業道、生活道としての利用頻度は低い、一部の地元住民の利用は確認している。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和3年1月25日				
	調査結果	橋台下部ひびわれ有				
	健全性の診断結果	Ⅱ	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年～令和6年				
	内容	施設の状態は予防保全段階ではあるが、軽微であると判断される。ただし、規模の大きい橋梁であることから、業務委託による点検を行い、より正確な管理に努める。				
	実施予定時期	令和3年				
	施設の優先度	中	利用頻度が低いため、優先度は中とする。			
	対策費用(概算)					
管理方法	5年に1回の定期点検を行う。また、土砂堆積が発生しやすいので路面清掃作業を適切に行う。					

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)		0.7								
対策の内容・実施時期	定期点検	業務委託による点検				定期点検				

備考

個別施設整理番号		林道台帳索引番号番号	4	施設管理者	南伊豆町
路線名	鈴野線	林道種類及び区分	自動車道第2種第2級	橋梁名	無名
施設の所在地	南伊豆町青野	起点からの距離	-	建設年度	1975
供用年数	46	種別	PS床版	型式	コンクリート床版
道路橋示方書	-	橋格(設計荷重)	-	橋下条件	-

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.3m		幅員(車道幅員)	6.3(5.5)m
	施設の構造等	上部工型式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	-
		支承形式	-	落橋防止の有無	-	
	橋台工型式	不明		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	作業道、生活道としての利用頻度は低いですが、一部の地元住民の利用は確認している。林道青野八木山線の起点付近に位置し、林道青野八木山線の利用頻度が高くなることに伴い、利用頻度は高くなる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和3年1月25日				
	調査結果	橋台下部遊離石灰、隙間有。さび有。床版ひび有。				
	健全性の診断結果	II	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年～令和6年				
	内容	施設の状態は予防保全段階ではあるが、軽微であると判断するため、今後の定期点検において経過観察とする。				
	実施予定時期	5年に一度の定期点検を実施する。				
	施設の優先度	高	林道青野八木山線の起点付近に位置し、今後の利用が見込まれるため、優先度は高とする。			
	対策費用(概算)					
管理方法	5年に1回の定期点検を行う。また、土砂堆積が発生しやすいので路面清掃作業を適切に行う。					

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設計画一覧表(橋梁)

個別施設 整理番号	林道台帳 索引番号	路線名	林道種類 及び区分	橋梁名	所在地	起点から の距離	建設 年度	供用 年数	種別	型式	道路橋 示方書	橋格 (設計荷 重)	橋下 条件	橋長 (m)	幅員 (m)	上部工型式	橋台工 型式	橋脚工 型式	海岸から の距離 (km)	施設の現況			計画内容				優先 度	措置記録					備考		
																				点検実施 年月日	判定区分	所見等	計画期間	内容		実施 予定時期		対策費用 (概算:百万円)	実施 年月日	内容		対策費用 (百万円)		再判定実施 年月日	再判定区分
																								分類	概要(数量)					分類	概要(数量)				
4	鈴野線	自動車道第1種第2級	無名	南伊豆町青野	-	1975	46	PS床版	コンクリート床版	1975	-	-	7.3	4.5	コンクリート床版	不明	-	-	-	R3.1.25	II	早期に措置を講ずべき状態	令和2年~令和6年	点検	-	R7	-	高	-	-	-	-	-	-	-
4	鈴野線	自動車道第1種第2級	大日橋	南伊豆町青野	-	1979	42	コンクリート	コンクリート床版	1979	3.3	-	10.6	4.0	鉄筋コンクリート床版	動力式	-	-	-	R3.1.25	II	早期に措置を講ずべき状態	令和2年~令和6年	点検	-	R3	0.7	中	-	-	-	-	-	-	-
4	鈴野線	自動車道第1種第2級	大矢場山橋	南伊豆町蛇石	-	1980	41	コンクリート	コンクリート床版	1980	2.8	-	10.6	3.3	鉄筋コンクリート床版	またたきコンクリート	-	-	-	R3.1.25	II	早期に措置を講ずべき状態	令和2年~令和6年	点検	-	R3	0.7	中	-	-	-	-	-	-	-
6	青木線	自動車道第1種第2級	無名	南伊豆町入間	0	1980	41	コンクリート	コンクリート床版	1980	-	-	7.5	4.0	コンクリート床版	不明	-	-	-	R3.1.25	II	早期に措置を講ずべき状態	令和2年~令和6年	点検	-	R7	-	高	-	-	-	-	-	-	-
3	滝の田線	自動車道第1種第2級	無名	南伊豆町毛倉野	361m	1973	48	コンクリート	コンクリート床版	1975	-	-	7.0	3.1	コンクリート床版	不明	-	-	-	R3.1.25	III	早期に措置を講ずべき状態	令和2年~令和6年	点検	-	R3	-	小	-	-	-	-	-	-	-